

★印西消防署防火設備立ち入り検査がありました

1月17日(土)朝11時から印西消防署の方4名がこられて当マンションの防火設備を検査しました。

消防からの総評は大きな欠点なしでした。共用部の廊下等もきれいに片付いており避難上問題なしとの褒めの言葉も頂きました。

ただし、細かな指摘もありましたので各自で改善願います。

① メーターBOX内に可燃物を置かない

通常火災の起きる場所ではないが、誰でも扉を開けられて、放火される危険性がある。

廊下等の共用部分でも同様です。



② 南側バルコニーの隣との境にある避難壁のそばに物を置かない

玄関側から火災が発生した場合、南側バルコニーの避難壁を破って隣から避難します。

避難壁のそばに物を置いていたり、何かで避難壁を塞いでいたしている場合、避難できなったり、躓いて怪我をしたりすることがあります。

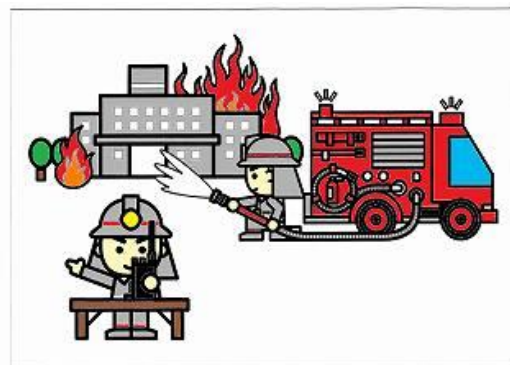
自分のバルコニーの様子は分かりますが、隣のバルコニーの様子は分かりません。怪我なく避難ができるよう十分な避難通路を確保してほしいとの消防からの指導です。



③ バルコニーでの灯油の保管について

消防の指導としてはバルコニーでの保管は不可。室内での保管が原則といわれました。

特にポリタンクに直接日射が当たるような保管方法は危険であるとのこと。



今後の印西消防署の立ち入り検査は3年後くらいになりますが、コープシティ桜台では毎年秋に消防署を呼んで防災訓練を行っています。その際に消防は外観を見ていきますので、注意が必要な場合にはすぐに立ち入り検査を行うとのこと。

日常における注意、対策をお願いいたします。

★災害対策基本情報整備のご報告

自主防災会機能の充実を図るため、①各世帯の構成員の把握、②共助活動に協力いただける人材の把握、③災害弱者の把握を目的に、昨年8月下旬から9月中旬にかけて災害対策基本情報整備を実施しました。集計結果がまとまりましたのでご報告します。

初の試みでしたが、多数の会員の皆様にご協力をいただくことができ、感謝いたします。

皆様の防災に関する強いご関心とともに、一層の充実を図る必要も感じております。

結果を踏まえ、一層の情報の収集と防災マニュアル等への反映、今後の情報更新の検討などを行ってまいります。

また、秋の防災訓練時には災害時協力者の方々にも協力を頂きながら訓練をしたいと考えております。

- 実施期間（用紙配布～提出締切）：2014年8月23日～同9月14日

- 回収世帯数：168世帯（220世帯に対して76.4%）

- 回答世帯員の年齢区分別構成

年齢区分	人数	比率
未就学	13	2.7%
小学生	23	4.8%
中学生-18歳	41	8.5%
19-29歳	86	17.8%
30-40代	81	16.8%
50-60代	222	46.1%
70歳以上	16	3.3%
総計	482	

- 災害時要援護者

要援護事項	人数
階段の昇降	1
屋外への移動	0
会話	0
現在医療処置を受けている	1
その他	4
合計	6

- 災害時協力者

世帯数 44

経験・資格等	人数
医療関係	6
福祉関係	10
救命救急	18
その他	47
述べ人数	81